特集　横家敏昭町長就任のあいさつ
海山交流事業「青少年 沖縄・宮古島派遣」
平成２４年度決算からみる町の財政

横家敏昭町長初登庁　～ほっと一息、心癒やされるまちづくり～

先月１３日、横家敏昭町長が初登庁し、約８０人の職員から歓迎を受けました。纐纈政昭教育長と安江孝弘議長は「新町長として、白川町を更に発展させてください」などと激励。横家町長は「『ほっと一息、心癒やされるまちづくり』をモットーにまちづくりを進めていきたい。職員の皆さんは指示待ちでなく、いろいろな提案をしてほしい」と新町長就任のあいさつをしました。

ほっと一息　心癒されるまちづくり

白川町長　横家 敏昭
就任あいさつ

４期16年、白川町の発展のため陣頭指揮を執り、まさに獅子奮迅のご活躍をされた今井良博前町長さんにおかれましては、その功績には枚挙のいとまがありません。

　そのご労苦に対し心中より敬意を表し、感謝、御礼を申し上げるものでございます。それにひきかえ、私は自分の非力、無力を棚に上げ、立候補。無投票当選の栄をいただきました。この上は、前今井町長さんをはじめ、歴代町長さんが残された実績を無にすることなく、それを礎としてさらに、白川町発展のための町政運営に努力させて頂く覚悟でございます。町民の皆様におかれましても、歳はとっておりますがまだまだ未熟な私でございます。何かとご指導のほどお願い申し上げます。

　今回私は「みんなでやろまいか」という言葉を掲げさせて頂きました。急激に進んでおります、過疎化、少子高齢化は日常生活に深刻な影を落とそうとし

ております。白川町の高齢化率38％強は20年先の日本平均の姿だそうです。高齢者の皆様も生涯現役の言葉どおり、青年、熟年と一緒になって、町づくりにご協力頂きたいと考えております。町政運営には、様々なご意見があるべきです。先ずそのご意見を出す場を設けたいと考えております。より意見が出やすい方法も考慮しなければなりません。

出た意見をどう実現するか、これが行政の職員の力量かと思います。そしてその実現に向けても「みんなでやろまいか」ということを提言させて頂きました。

「ほっと一息心癒される町」これが私が理想の白川町像です。この実現に向け町民の皆様もお力添えとご指導のほど重ねてお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせて頂きます。

就任式後に、マスコミから取材を受けられた横家町長。その様子もお伝えします。

◆初登庁の感想は？

緊張していますが、初登庁する前の引き継ぎでいろいろな課題を受けやる気満々です。

◆「みんなでやろまいか」ということですが、どのような町政にしていく予定ですか？

今までの職員は指示待ちのように感じました。事務の効率化など自主的な改善を期待しています。

インタビューを受ける横家町長

◆どの政策に一番力を入れていく予定ですか？

高齢化率が高いこともあり、生涯現役という言葉のように、いつまでも社会参加できるようにしていきたい。

◆初めて町長のいすに座った座り心地はいかがですか？

正直なところ、あまり座り心地はよくなかったです。しかし、馴れたら離したくなくなるかもしれません（笑）

◆社会参加できるような政策とありましたが、具体的にはどのようなものですか？

長年生活してきた中で、得意な物をつくり直売所で売るための手助けをしたい。

ネットワーク作りでは、若者や他の地域から移住してきた方にも、地域づくりへ積極的に係わっていただきたい。

◆前町長は観光に力を入れてきたが、今後はどのような方針ですか？

観光事業は、町にある文化、伝統を体験していただくものや、グリーンツーリズムのようなものを行い、何度も訪れていただけるようにしていきたい。

◆基幹産業のお茶はどうですか？

生産者の高齢化もあり、生産額、量とも減少傾向にあります。これについては、機械化が進んできているので作業請け負いするような組織をつくり、生産量の維持、拡大につなげたい。更に需要の拡大をはかるよう、煎茶だけでなく他の商品も開発していきたい。

また、町内では標高差があるので、その特色を活かしたお茶作りや、無農薬といった特色のあるお茶づくりを推進したい。

「海山交流事業」

青少年沖縄・宮古島派遣

新しい出会いから～わたしとまちの再発見～

先月号で町内の小学５・６年が８月６日から９日にかけ、沖縄県宮古島市及び那覇市を訪れたことをお伝えしました。

今月号では児童の感想を中心に交流事業の様子をお伝えします。

※参加者全員の感想文を掲載することが本意ではありますが、誌面の都合上、班長５名の感想文を掲載させていただきます。

首里城にて記念撮影

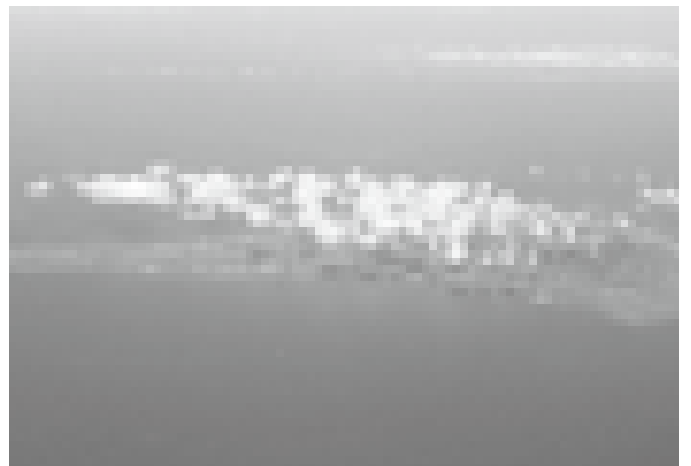
白川小学校　西野　唯花

私はこの研修を通じて「出会い」「ふれあい」「感動」この３つを見て、聞いて、体で感じてくることができました。

「出会い」ではまず海に出会いました。今まで見たことのない、とてもきれいなエメラルドグリーンの海でした。青い海、青い空、白い砂浜、見る物全てが初めての景色で、私の目に焼き付きました。

泳いだり、バナナボートに乗ったりしたことは、最高に気持ちの良い体験となりました。珊瑚礁の中を泳いでいる熱帯魚を見ていると、まるで、水族館の中で泳いでいるような気分でした。

セントレア空港から出発

「ふれあい」では、宮古島の子とふれあうことができました。お互いの住んでいるところの良さを話しました。宮古島の子は「暑い日は近くにある海でいつも遊んだり、マンゴーやパイナップルがおいしいよ」など、宮古島のことを話してくれました。私も「白川町は川がきれいで鮎がたくさん食べられることや、冬に雪が降ること、お茶の名産地だよ」という白川町の良さを伝え、宮古島の子と、より深く、交流することができました。ほかにも、沖縄の伝統的な楽器、三線を生演奏で聞くことができました。その音色は、心に響くきれいな音で、優しい気持ちになれました。

飛行機からの景色

「感動」では、ひめゆりの塔で戦争中、看護活動にあたって亡くなった少女達の慰霊碑がありました。ひめゆり部隊はどのように生きて亡くなっていったかを知り、戦争の悲惨な状況を知りました。今も世界のどこかで戦争が起こっています。何のために戦争をするのでしょうか。日本だけでなく、全世界で戦争をしてはいけないと、強く思いました。戦争で家族を失い、悲しい経験をたくさんしている、沖縄の人々は平和を願う気持ちが強いだろうなと思いました。そして、首里城では、中の装飾や絵が本当に美しく、感動しました。さすが、琉球王国の国王が住んでいた城だと思いました。

宮古島児童と一緒に記念撮影

海中探索

私はこの研修を通じて「出会い」「ふれあい」「感動」の3つを肌で感じることができました。とても貴重な体験がたくさんでき、楽しいだけでない沖縄の姿を知り、私にとって、かけがえのない宝物となった、3泊4日の研修となりました。

文化、気候、たくさんのことが白川町と違う宮古島にまたいつか、行きたいと思いました。

白川小学校　加藤　由瑞妃

私は、8月6日から4日間沖縄に行ってきました。そしてたくさんの五感体験をすることができました。その中で白川町や自分の発見、また、海山交流を通して学んだことがたくさんあります。

一つ目は白川町の発見です。白川町には海がありません。初めて乗った飛行機の窓から見下ろしたとき、テレビで見るのと同じエメラルドグリーンの色をした海が目にとびこんできました。特に東平安名崎から見た海は太陽の光を受け、ダイヤモンドのような輝きで、感激しました。思わず見とれてしまうほどでした。またバスに乗っている間、どこに行っても川の景色はありませんでした。だから白川町の川が自慢に思えてきました。自慢の白川では夏になると鮎釣りができます。きれいな川でしかできないことだと思います。また、沖縄には山が少なく、高い山はありません。山があるおかげで白川町の空気はおいしいです。空気をきれいに、そしておいしくしてくれる山も白川町の誇りです。そんな美しい山と川を守るために私にできること、ゴミを捨てない、ゴミがあったら拾う、ということを心がけたいと思いました。

宮古島青少年の家入所式

二つ目は今の生活についてです。戦争についてひめゆりの塔や、平和祈念公園、講話を聞いて「二度と起こしてはならない」と思いました。戦争をしていたころは、食べ物が足りない、いつ死んでもおかしくない状態でした。私は毎日3回、ご飯が食べられるし、毎日を楽しく過ごせています。今、私が当たり前だと思っていたことが、当時は当たり前ではなかったと思うと、今の生活がとても幸せに思えてきました。今、私達が平和に暮らせているのは、自分の命を省みず必死に戦った人達のおかげです。感謝の気持ちをもって生きたいと思いました。しかし日本は戦争が終わりましたが、まだ戦争をしている国があります。世界は大きな車輪のようなものです。対立したり、ぶつかったりしていたら前へ進めません。みんなが仲良く、手をつないで進んでいってほしいです。それが世界平和だと思います。

三つ目は、自分の発見です。私は班長でした。初めて友達になった白川小以外の友達も含めて、みんなをまとめる役目がありました。ならぶ時には「ならんで」と声をかけたり、注意をしました。また分からないことは教えてあげることもできました。自分に自信がついたし、一歩進歩した気もします。

４日間の短い間でしたが、この海山交流会を通して、私の頭に学んだことがぎっしりつまっています。沖縄にはない川が自慢に思えた白川町。平和に暮らせる毎日。班長としてみんなをまとめたり、注意できる自分。そして五感の「見て、聞いて、かいで、ふれて、味わって」も達成できました。

沖縄に連れて行ってくださった町長さんや役場の方々、ありがとうございました。

貝細工作り

白川北小学校　杉山　華音

来間島からの景色

海山交流に参加して、３日間は宮古島市へ、最終日には那覇市へ行ってきました。

出発するときに「友達できるかな」「班長だけどみんなをうまくまとめられるかな」など、色々不安でした。でも、実際に行ってみると、沖縄の子は、とても仲良くしてくれたので友達もつくれたし、班長の仕事も班の子に手伝ってもらいながらできたのでよかったです。友達と４日間をすごしてみて、いつもと違う生活ができてとても楽しかったです。掃除や布団をたたむときなど、一日一日を友達と協力してすごせました。そんな海山交流で一番心に残ったことは、平和祈念資料館での語り部講話とひめゆりの塔です。

平和祈念資料館では、語り部講話を聞きました。語り部さんが実際にあった沖縄戦の話をしてくださいました。戦争がはじまると、石の影に隠れていても海の方から爆弾が飛んできてやられてしまう。防空壕に隠れていても、米軍がガソリンや毒ガスを投げてきてやられてしまう。そんな、恐ろしい戦争だったそうです。赤ちゃんがいる人は、壕の中に入れてもらえないので外で逃げ回って暮らしていたと聞いてかわいそうだなと思いました。そんな沖縄戦から学ぶことは、命の尊さ、平和の大切さ、戦争の愚かさだということが、今回の平和学習で分かりました。沖縄戦は、とても恐ろしかったんだなと思いました。そんな沖縄戦を生き抜いてきた人たちはすごいなと思いました。

ひめゆりの塔では、ひめゆりの塔に花を捧げました。ひめゆりの塔は、沖縄戦で亡くなった、ひめゆり学徒生の遺骨が納められています。爆弾やガス、そして、自分で手榴弾を投げ、亡くなっていったひめゆりの人たちが、どれだけつらい思いをしていたのだろう、と思いながら手をあわせました。

バナナボートに乗りました

資料館には、ひめゆり学徒生がいた、実物大の病院壕がありました。中は薄暗く、奥の方が見えない状態でした。けがをした人が寝るベッドがありました。壕の中はとても狭く、立って寝るしかないぐらいでした。ひめゆりの人たちは、毎日そこですごしていて、つらい思いをしていたんだなと思いました。沖縄戦の実際の映像もありました。想像ができないほどひどく、家は焼け崩れ、焼け野原になっていました。住民の人は、とても苦しい生活をしていたということが分かりました。

今は戦争もなく、食べる物も着る物もあって、贅沢のできるとても幸

せな時代です。でも、昔は食べる物も着る物もなく、空から爆弾が落ちてきたりして、苦しい思いや怖い思いをしていたことが、今回海山交流に参加して、今までよりもっと詳しく知ることができました。今のような平和が、とても大切だということも改めて知ることができました。私の生活を振り返ると、贅沢をしているところがたくさんあります。でも、昔はそんな贅沢を言ってられなかったということも頭に入れて生活していきたいです。この４日間は、戦争の愚かさを知ることができました。宮古島の友達もつくれました。いろいろな経験ができたし、とても楽しくすごせた海山交流でした。

海水浴サイコー！

黒川小学校　後藤　綾世

下地児童とお別れ

私は、飛行機に久しぶりに乗りました。沖縄県の那覇から宮古島へ行く途中、島がたくさんあって、地図を見ているようでした。海も青いところや水色のところがあり、すごくきれいでした。

この４日間で、楽しかったこと、驚いたこと、うれしかったこと、悲しかったことがありました。

まず、一番楽しかったことは、バナナボートです。落ちたらどうしようという怖さもあったけれど、みんなとはしゃぎながらできたし、なんといっても、このきれいな海の上でできることがすごく幸せでした。

次に、驚いたことは二つあります。

一つ目は、料理の多さです。いつもの２倍の量で、食べきれない日がありました。けれど宮古島の人は、普通にパクパク食べて、いつの間にか完食していました。私もたくさん食べないとなぁと思いました。

二つ目は、工事中の柵の絵です。工事中の柵は、私が見たことがあるのは、カエルやペンギンの絵の柵だけど、沖縄県の工事中の柵の絵はシーサーでした。初めて見て、こんなものもあるんだなぁと思いました。

次に、一番うれしかったことは、友達がたくさんできたことです。行く前は、友達できるかなぁ、独りぼっちにならないかなぁ、と思っていたけれど、みんなしゃべりかけてくれたし、一緒に買い物をしてくれて、すごくうれしかったです。私もしゃべりかけられるだけでなく、自分から積極的にしゃべりかけました。海山交流が終わって、さっそく友達に手紙を出しました。

最後に、悲しかったことです。それは、戦争のお話を聞いたときです。県平和祈念資料館で戦争のお話を聞きました。話してくださった人は、当時、小さくて、そんな小さいころは覚えていないのに、詳しく教えてくださったので、忘れられないくらいの激しい戦争だったのだと思います。話を聞いて「なぜ、簡単に人を殺せるのだろう。仲良く、助け合う、平和な生活をすれば、死者もなく、みんな笑顔で暮らせたのに」と息が苦しくなりました。話してくださった人は「戦争は人を変える」と言っていました。これを聞いて私は、この時代に生まれなかったことを幸せに思い、死んだ人の分までも心をこめて、命を大切にして生活したいと思いました。

東平安名崎灯台からの景色

佐見小学校　安江　柊人

お土産何にしよう？

僕がこの宮古島交流で感じたことは、三つあります。一つ目は初めての沖縄ということです。僕は、宮古島や沖縄に来たのも初めてだし、飛行機にも初めて乗りました。飛行機はとても高いところを飛んでいたので驚きました。飛行機は、近くで見たら翼などがとても大きくて驚きました。初めての飛行機を楽しめたのでよかったです。

そして僕は海水浴も初めてでした。今まで僕は川でしか泳いだことがなかったので初めての海はとてもおもしろかったです。

二つ目はたくさんの思い出が作れたということです。まず初めての海水浴をしたときに、バナナボートを体験しました。海の波でバナナボートが浮いたのでおもしろかったです。またその海でヤドカリなどもみつけることができました。また飛行機では、空から見る海や島がとてもきれいで驚きました。外から見る海がとても広くどこまでも続いているということがとてもよくわかりました。

そして僕は、友達を作ることができました。宮古島の人とも仲良くなれたのでよかったです。

また、僕は班長として班の人をならばせるとか全員いるか確認するなどと色々仕事があったけど、しっかり周りのことを考えて行動できたと思うのでよかったです。

海中探索ではとてもたくさんの魚が見られたのでよかったです。また珊瑚もとてもきれいに見えました。

三つ目はたくさんのことが学べたということです。戦争のことでは、とても戦争がひどいということが改めてわかりました。僕たちは戦争のない平和な時代に生まれて本当に良かったと思います。僕は戦争は絶対にあってはいけないことだと思います。

宮古島の海はゴミひとつなくてとても青くてきれいな海でした。魚などもたくさんいるのでとても自然がいっぱいのところなんだなと思いました。

これからの二学期は、運動会などの行事があります。僕はこれからみんなの中心になって色々やっていかないといけないときがあると思いますが、班長になって学んだ周りのことを考えて動くということを意識してこれからも生活していきたいと思います。

またこの交流を通して宮古島と白川町の違いもみつけました。宮古島にはとてもきれいな海があります。白川町には海がありません。でも、白川町にはとてもたくさんの山と川があります。宮古島のきれいな海を守るために川などもきれいにするよう心がけたいと思います。このように白川町と宮古島の良いところを発見することができたのでよかったです。また、白川町と宮古島の違いも見つけることができたのでよかったです。

僕は、これからこの宮古島で学んだことを活かして生活していきたいと思います。そして宮古島のことも考えて生活していきたいと思います。とてもいい体験ができたと思うのでよかったです。

首里城の石垣から

ひめゆりの塔に献花

白川小学校　川瀬梓先生

「百聞は一見にしかず」この言葉は、私が6年生の時に海山交流会と同じような体験をした時、当時の町長さんに言われた言葉です。私は海津市の平田町（ひらたちょう）というところの出身です。そのため、同じ平田町（ひらたまち）という山形県にある町の子と交流をしました。私は、十年以上経った今でも、そこで友達になった子と繋がっています。この宮古島での引率は私にもう一度、出会いや経験の大切さを思い出させてくれたものでした。

「出会い」では、同じ白川に住んでいる仲間や遠く離れた宮古島の子達がたった3日間で、心を通じ合わせ笑顔を見せ合うことができました。これは、子ども達にとってはかけがえのない出会いの場であり宝物になっていくと思いました。

「経験」では、子どもたち一人ずつに原稿用紙一枚分のスピーチがありました。どの子も、事前に内容を考え、そして練習し、当日は堂々と話をしていました。大勢の前で話すという経験をすることはとても大切な場だと感じました。子ども達のすばらしい成長の瞬間を間近で見ることができ幸せな時間でした。子ども達には素敵な出会いや経験をして、より宝物を増やしてほしいと思いました。

蘇原小学校　小嶋大介先生

毎年海山交流に参加する子どもたちに、学校で積極的にリーダーに立候補するようになるとか、自主的に学習に取り組むようになるといった変化が見られます。この成長の秘密は何なのか非常に興味を持っていました。今回引率者として海山交流に参加することができ、子どもが成長する姿を間近で見ることができ、秘密がわかった気がします。白川町とはまったく違う環境の中で、見るもの全てが新鮮。そして新しい発見の連続。子どもたちは目をキラキラ輝かせながら驚きと感動の声をあげます。「あれは何」「これはどうすればいいの」たくさんの発見を解決するために仲間と協力して活動に取り組みます。そこで学ぶことの楽しさを知り、主体的に学習する姿が育まれていました。また一緒に研修に参加した白川町内の仲間や宮古島の友だちと感動を共有することで絆を深めることができました。自分が通う学校以外にも同じ思いを持った仲間がいるという心強さが、子どもたちに自信をつけていると感じました。

今回の海山交流で見つけた子どもの成長の秘密を、今後の教育活動でも生かしていきたいと思います。

佐見小学校　熊崎由奈先生

山に囲まれた町で、川で泳いだり、魚を捕ったりして育ってきた白川の子どもたち。今まで体験したことのない海に囲まれた宮古島の生活を、五感を使って体験することができました。地元と違った文化に触れ、その文化の良さや自分たちの文化との違いを知り、改めてふるさとの良さを再認識するよい機会となりました。

宮古島の子どもたちとの交流では、互いの学校の話や町の話をしていました。たくさんの違いがあり、互いの話に興味を持ちながら関わることで、すぐに打ち解け合うことができました。遠く離れた宮古島の人と友達になれること、とても素敵なことです。その出会いを大切に、どうかこれからも人との繋がりを大切にしてほしいと思います。

9月7日の研修報告会では、どの子も自分の考えや体験して学んだことなど、堂々と発表することができていました。家を離れて友達と過ごした4日間。子どもたちは自主性や積極性を高めることができました。白川の子は、どちらかというと控えめな子が多いように思いますが、自分に自信や力をつけることができるこの研修は絶好の機会でした。

この研修で身に付けた力を、これからの学校生活の中で発揮できるように願っております。

海山交流参加児童一覧（敬称略）

班	氏名	学校
1班	西野　唯花	（白小）
	古田　夕姫	（黒小）
	安江　圭生	（蘇原小）
	福田　陸斗	（白北小）
	藤井　優衣	（白北小）
2班	加藤由瑞妃	（白小）
	細江　麻凛	（佐見小）
	杉山　華梨	（白北小）
	各務　綾花	（黒小）
	纐纈　博政	（白小）
3班	杉山　華音	（白北小）
	久保　海仁	（黒小）
	林　天音	（白小）
	熊崎　芽瑠	（佐見小）
	今井　泉希	（蘇原小）
4班	後藤　綾世	（黒小）
	東口　麗温	（白小）
	豊本ことみ	（白小）
	山口　真季	（蘇原小）
	安江遼太郎	（佐見小）
5班	安江　柊人	（佐見小）
	佐藤　志衣	（白北小）
	田口　北翔	（黒小）
	藤井　夏美	（蘇原小）
	大橋美友香	（白小）

～平成 24 年度　決算～

水源の里の恵みいっぱい 活力みなぎる人たちが暮らすまち 美濃白川

一般会計・特別会計あわせて

90億3,419万円

決算

今月号では、平成24年度予算がどのような事業に使われたか、その概要を紹介します。

一般会計　1億6，862万円の黒字決算

一般会計決算は、歳入（収入）67億8，703万円、歳出（支出）65億1，596万円で、歳入から歳出を差し引くと、2億7，107万円の黒字となりました。この額には平成25年度へ繰り越した事業に充てる1億245万円を含んでいるため、これを差し引いた実質的な収支（差引額）は、1億6，862万円の黒字となり、平成23年度決算と比較して、歳入で3·9％の減、歳出で4·1％の減となりました。

一般会計の歳入では、町税や使用料など町が自主的に収入できる自主財源と地方交付税や国・県補助金、町債など国や県から交付される依存財源に大別して比較すると、依存財源が74·5％、自主財源が25·5％となっており、自主財源の占める割合は前年度より0.4ポイント低下に止まりほぼ横ばいです。これは自主財源である町税が減少したことと共に地方交付税も減少したためです。限られた予算の中、各種の補助制度を有効に活用し、積極的なまちづくり施策を実施しています。

一般会計決算額の概要

年　度	歳入（収入）	歳出（支出）	形式収支	実質収支
24年度	67億8,703万円	65億1,596万円	2億7,107万円	1億6,862万円
23年度	70億6,435万円	67億9,179万円	2億7,256万円	2億1,810万円
増減額	△2億7,732万円	△2億7,583万円	△149万円	△4,948万円
増減率	△3.93%	△4.06%	△0.55%	△22.69%

歳入

自主財源 25.5%

依存財源 74.5%

町税 14.6%
分担金及び負担金 使用料及び手数料 2.0%
財産収入 0.3%
寄付金 0.2%
繰越金 繰入金 5.7%
諸収入 2.7%
地方譲与税 1.1%
地方交付税 38.7%
その他 1.9%
国庫支出金 13.0%
県支出金 10.1%
町債 9.7%

平成 24 年度　一般会計（歳入）		
内　訳	決　算　額	伸び率（%）
歳入総額	67 億 8,703 万円	△ 3.9
町税	9 億 9,271 万円	△ 1.6
地方譲与税	7,524 万円	△ 6.5
利子割交付金	227 万円	△ 32.9
配当割交付金	170 万円	4.5
株式等譲渡所得割交付金	40 万円	11.5
地方消費税交付金	8,399 万円	△ 3.5
ゴルフ場利用税交付金	1,262 万円	28.1
自動車取得税交付金	2,544 万円	41.1
地方特例交付金	190 万円	△ 90.3
地方交付税	26 億 2,985 万円	△ 2.3
交通安全対策特別交付金	170 万円	△ 1.6
分担金及び負担金	3,978 万円	6.6
使用料及び手数料	9,500 万円	0.6
国庫支出金	8 億 7,898 万円	42.3
県支出金	6 億 8,282 万円	△ 37.3
財産収入	2,128 万円	△ 12.0
寄附金	1,234 万円	5.3
繰入金	1 億 1,342 万円	△ 31.8
繰越金	2 億 7,256 万円	△ 13.4
諸収入	1 億 8,486 万円	10.4
町債	6 億 5,818 万円	6.3

歳出決算の特徴

一般会計の歳出は、前年度より2億7，583万円少なくなりました。これは、平成23年9月に発生した豪雨災害等に対する災害復旧事業（6億7，979万円）が年度を通して行われたことにより、前年度より大幅に増加した事業もありましたが、国体施設整備事業が平成23年度に比べ大幅に減少したこと、道の駅温泉の工事が平成23年度で完了したことなどがあり全体としては減となりました。

歳出を目的別で見ると

総務費ではぎふ清流国体関連の事業で大きく減少したこともあり、約4億5，900万円の減少となりました。商工費は、道の駅温泉建設工事の終了等により約1億6，100万円の減となり、土木費は、道路維持修繕事業の減少等により約3，300万円の減となりました。

消防費は、耐震性貯水槽設置事業により約4，600万円の増となり、教育費は、白川中学校トイレ改修工事や多目的グラウンド整備工事、教育施設整備基金積立金などにより約1億1，100万円の増となりました。災害復旧費は、平成23年9月発生した豪雨に対する災害復旧事業が行われたことにより約3億1，400万円の大幅増となり、公債費は、600万円減でほぼ横ばいになりました。

歳出を性質別で見ると

平成24年度の歳出決算額は、前年度に比べ全体でマイナス4.1%となりました。普通建設事業費で比較するとマイナス30.3%となり、主に単独事業の減少によるものです。

投資的経費が全体の3割弱を占めているのは昨年度と同じですが、事業費としては約1億5，600万円の減少となっています。平成24年度の特徴として、普通建設事業費が大きく減少していますが、災害復旧事業費は大きく増加しています。その結果、災害復旧事業費は決算額の1割強になっています。

財政用語の解説

自主財源
町税や町の施設の使用料など町が独自で徴収するお金

依存財源
地方交付税や国・県支出金など国や県から町に入ってくるお金

地方交付税
町の財政力に応じて国から交付されるお金

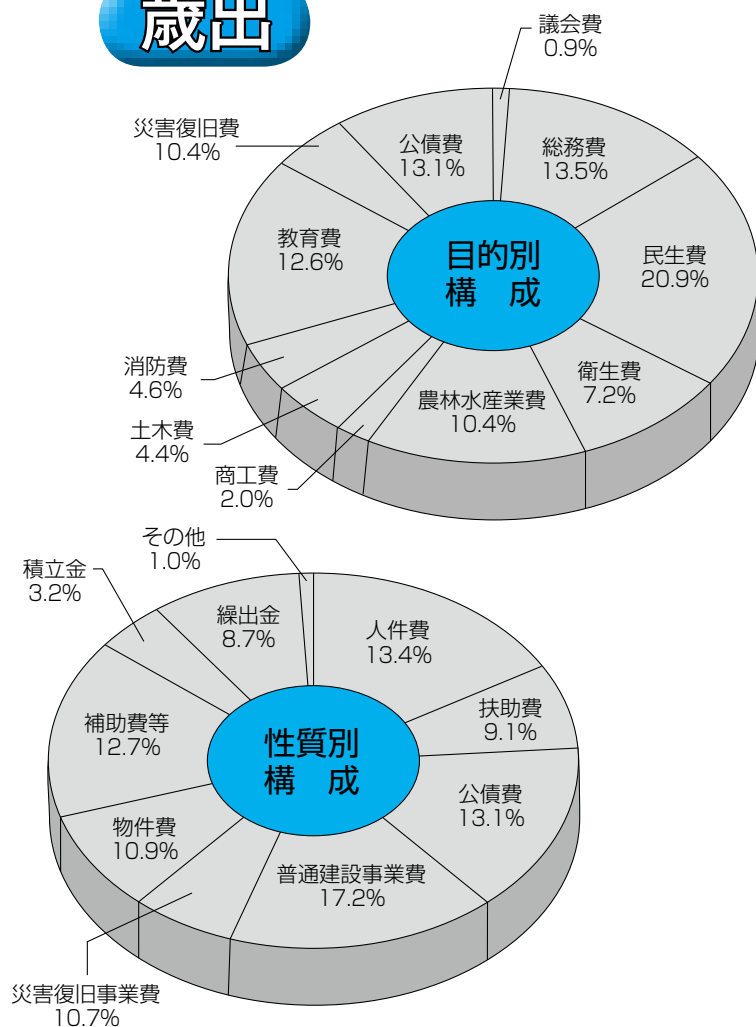
公債費
事業で借りたお金の返済金

国・県支出金
事業に対する国や県からの補助金

町債
大きな事業を行うときに借りるお金

歳出

目的別構成
議会費 0.9%
総務費 13.5%
民生費 20.9%
衛生費 7.2%
農林水産業費 10.4%
商工費 2.0%
土木費 4.4%
消防費 4.6%
教育費 12.6%
災害復旧費 10.4%
公債費 13.1%

性質別構成
人件費 13.4%
扶助費 9.1%
公債費 13.1%
普通建設事業費 17.2%
災害復旧事業費 10.7%
物件費 10.9%
補助費等 12.7%
積立金 3.2%
繰出金 8.7%
その他 1.0%

平成24年度　一般会計（歳出）		
内　　訳	決　算　額	伸び率（%）
歳　出　総　額	65億1,596万円	△4.1
議　会　費	5,937万円	△13.1
総　務　費	8億8,034万円	△34.3
民　生　費	13億5,787万円	△0.5
衛　生　費	4億7,108万円	△4.8
農林水産業費	6億7,375万円	△5.3
商　工　費	1億3,240万円	△54.9
土　木　費	2億8,410万円	△10.5
消　防　費	2億9,933万円	18.0
教　育　費	8億2,220万円	15.6
災害復旧費	6億7,979万円	86.0
公　債　費	8億5,573万円	△0.7
諸支出金	0万円	皆減

町民ひとりあたりに使われたお金は、

68万660円

平成24年度に実施した主な事業や特徴的な事業を目的別に紹介します

（人口：9,753人）

土木費　2万9,677円

○道路維持修繕事業
○道路新設改良事業
○河川砂防事業
○住宅管理事業

消防費　3万1,268円

○可茂消防事務組合負担金
○消防団活動費
○可搬ポンプ付軽積載車購入費　1台
○中之平消防詰所整備
○防災放送施設管理事業
○耐震性貯水槽設置事業

教育費　8万5,887円

○教育振興費
○学校管理費
○給食センター管理費
○楽集館、公民館管理運営事業
○多目的グラウンド整備事業

災害復旧費　7万1,011円

○平成23年9月豪雨災害復旧事業等

公債費　8万9,390円

○町債元利償還金

その他　6,202円

○議会費

総務費　9万1,961円

○めざまししらかわ制作放映費
○ぎふ清流国体開催費
○白川口駅舎改修事業
○地籍調査事業費
○衆議院議員選挙費・県知事選選挙費

民生費　14万1,844円

○児童手当・子ども手当事業
○後期高齢者医療保険事業
○障害者福祉サービス費（障害者自立支援法関係）
○老人福祉サービス事業
○福祉医療費助成事業
○保育園運営事業

衛生費　4万9,209円

○健康づくり推進事業
○母子・精神・成人保健事業
○予防接種事業
○合併処理浄化槽普及事業
○一般廃棄物処理事業

農林水産事業費　7万0,380円

○鳥獣被害防止対策事業
○中山間地域等直接支払事業
○農山漁村定住・交流活性化事業（茶園整備・林道開設）
○県営中山間地域総合整備事業負担金（農道・集落道3路線）
○美濃東部区域農用地総合整備事業
○間伐実施事業・間伐材全量搬出実証モデル事業
○林道整備事業

商工費　1万3,831円

○管理運営事業（せせらぎの里・クオーレ）
○道の駅温泉施設運営事業

基金残高・町債残高の推移

公債費については、新たな地方債の借入抑制に努めてきた結果、平成24年度末の町債（借金）残高は、平成23年度末と比較して2億7,026万減少し、85億4,951万円となりました。このうち、57億7,196万円は交付税として国から補てんされるため、町が返還すべき金額は27億7,755万円になります。

また、町民一人あたりに換算すると、約89.3万円で、このうち約60.3万円が後に国から助成されることになります。

町の基金（貯金）残高は、平成24年度末で22億5,114万円です。財政調整基金、教育施設整備基金、地域振興基金などに積立を行った結果、平成23年度末と比較して、1億1,241万円増加しました。町民一人あたりに換算すると約23.5万円となり、平成23年度決算と比べ約1.3万円増加しています。

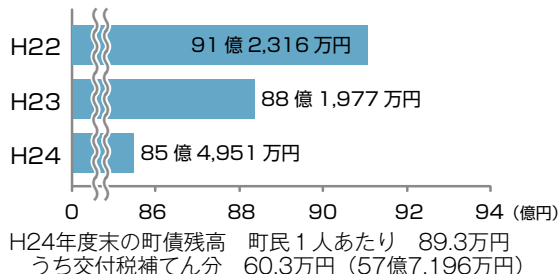
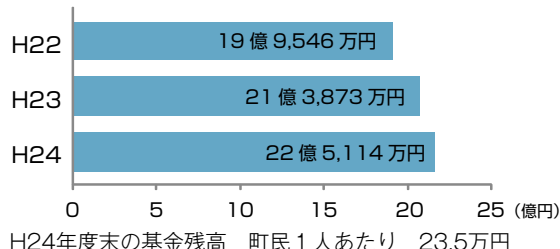
町債（借金）残高の推移

H24年度末の町債残高　町民１人あたり　89.3万円
うち交付税補てん分　60.3万円（57億7,196万円）

基金（貯金）残高の推移

H24年度末の基金残高　町民１人あたり　23.5万円

特別会計の決算

特別会計は、特定の収入（保険料や使用料など）により特定の事業を行うため、一般会計と区分して設ける会計です。本町では５の特別会計があります。

特別会計

会計名	歳入（収入）	歳出（支出）	収支差引額
国民健康保険特別会計	11億2,103万円	11億0,330万円	1,773万円
簡易水道特別会計	3億0,882万円	3億0,281万円	601万円
地域振興券交付事業特別会計	5,169万円	4,463万円	706万円
介護保険特別会計	9億5,270万円	9億4,707万円	563万円
後期高齢者医療特別会計	1億2,214万円	1億2,042万円	172万円
（参考）合計	25億5,638万円	25億1,823万円	3,815万円

財政の健全度を表す指標を公表

健全化判断比率はすべて適正範囲

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の成立（平成19年6月）に伴い、平成19年度決算から新たな財政指標の公表が義務づけられました。これらの指標は、地方自治体の財政の健全度を表す指標で、町議会に報告するとともに町民のみなさんへ公表することが同法律で義務づけられています。また､これらの指標が､国の基準（早期健全化基準･財政再生基準など）を超えた場合、町は財政健全化を図るための計画を策定することが義務づけられています。

本町の場合、健全化判断比率及び公営企業（簡易水道特別会計）の資金不足比率は、いずれの指標も基準を下回っています。

健全化判断比率

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4指標からなる、町の財政の健全度を表す比率

実質赤字比率→黒字のため該当なし

一般会計における赤字の程度を示しています。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。

平成24年度一般会計決算は黒字のため、実質赤字比率は該当しません。

連結実質赤字比率→黒字のため該当なし

特別会計や企業会計などすべての会計を合算して算出するもので、町全体の赤字の程度を示しています。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。

平成24年度の白川町連結決算は黒字のため、実質赤字比率は該当しません。

実質公債費比率→ 11.8%　基準の範囲内

借入金の返済額やこれに準じる額の大きさを示しています。数値が大きいほど、資金繰りが悪化していることを表します。平成24年度の３ヵ年平均は、前年度より改善し11.8%となり、早期健全化基準（黄色信号基準＝ 25.0%）を下回っています。

将来負担比率→ 25.2%　基準の範囲内

借入金や将来的に支出することが見込まれる現時点での残高を示しています。数値が大きいほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを表します。

平成24年度は、前年度とほぼ同じ25.2%となり、早期健全化基準（黄色信号基準＝ 350.0%）を下回っています。

資金不足比率→簡易水道特別会計が対象
黒字のため該当なし

公営企業（簡易水道特別会計）の料金収入の規模に対する資金不足額の程度を示します。数字が大きいほど経営が深刻化していることを表します。

平成24年度の簡易水道特別会計決算は黒字のため、資金不足比率は該当しません。

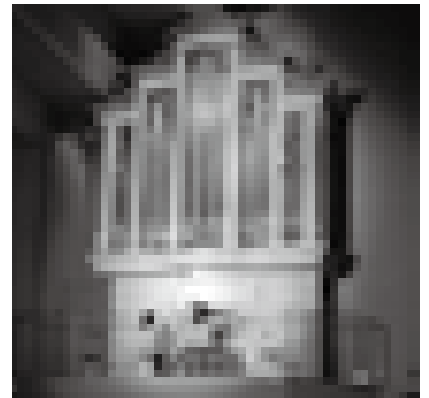
TOWN TOPICS

まちのうごき

ピストイア賞を目指して

■白川・イタリアオルガン音楽アカデミー

8月28日から9月4日にかけ第29回白川・イタリアオルガン音楽アカデミーが開催され21名が参加。県内、愛知県はもとより首都圏や関西圏、愛媛県や長崎県からも参加されました。

▲講師と受講生の皆さん

このアカデミーは、姉妹都市提携を結んでいるイタリア・ピストイア市との間で若手オルガン奏者を育てようと始まり、昭和60年から毎年開催。町民会館に設置されている2台のパイプオルガンなどを使い、演奏技術と知識の向上に励みました。講師は昨年と同様、ウンベルト・ピネスキ氏、金澤正剛氏、アンドレア・ヴァンヌッキ氏の3名。

最終日の午後には受講生によるコンサートが開催され、8日間に渡る練習の成果を披露。講師や観客の前でパイプオルガン特有の美しい音色を響かせました。

審査の結果、最優秀賞の「ピストイア賞」は大橋みゆきさん（岐阜県各務原市）が獲得。優秀賞の「白川賞」には大山智子さん（大阪府豊中市）小清水桃子さん（神奈川県川崎市）が選ばれました。

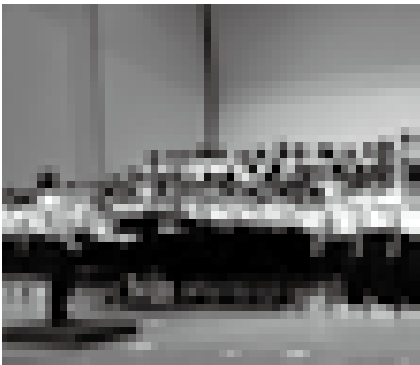
▲受講生コンサートの様子

岐阜大学コーラスコンサート

■小中学生芸術鑑賞会

8月23日、町民会館グロリアホールで小中学生芸術鑑賞会が行われ、岐阜大学コーラスクラブが美しい歌声を響かせました。

この催しは、普段あまり触れることのない生の芸術を小中学生に体験してもらうことを目的に毎年開かれているもので、これまでには交響楽団や吹奏楽団の演奏を鑑賞してきました。今年はコーラスクラブを招いて行われ、コーラスを聴くだけでなく、一緒に歌ったり合唱指導を受けたりもしました。

参加した中学生は「本格的な合唱を直接聞くだけでなく、合唱指導も受けることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました」と話していました。

▲合唱指導を受ける中学生

新しい町民の代表決まる

■白川町長選挙及び白川町議会議員一般選挙当選証書附与式

8月26日、当選された白川町長及び白川町議会議員に対し白川町役場にて当選証書附与式が行われました。

告示が8月20日に行われ、同月25日に選挙が行われる予定でしたが、立候補者が定数だったため、投票は行われず選挙会を経て当選が確定。当日は選挙管理委員会委員長の松山敏郎さんから当選証書の附与が行われ、新町長となる横家敏昭さんをはじめ当選された方は神妙な面持ちで当選証書を受け取りました。

横家敏昭さんは当選証書を受け取り「白川町長に就任するという実感が沸いてきました。熱意を持って町政に当たっていきます」と抱負を語られました。

▲当選証書を受け取る
横家敏昭さん

町出身者からの贈り物

■福祉車両（リフト付き送迎車）寄贈

先月４日、黒川鱒渕出身の古田雅彬さんから介護施設「黒川デイサービスセンター気楽園」に、福祉車両（リフト付き送迎車）を寄贈していただき、受け渡しが行われました。

黒川デイサービスセンター気楽園は平成14年に開設。福祉車両で利用者を送迎していますが、車両が古くなり更新を考えていたところ、寄贈いただけることとなりました。

当日、古田さんは仕事の都合でお見えになりませんでしたが、代理で藤井貞二さん（黒川）が目録を読み上げ、白川町社会福祉協議会会長の熊崎新平さんに手渡しました。

熊崎会長は「更新を考えていたところ、寄贈していただき本当にありがたく思います。大切に使わせていただきます」と語られました。

▲寄贈された車両と関係者・気楽園利用者

安心安全な道づくり

■上田集落道竣工式

先月７日、三川上田地内で進められてきた町道の拡幅改良工事が完成し、竣工式が行われました。

この事業は県営中山間地域総合整備事業加茂北部地区上田集落道整備として、平成22年に工事着工し、４年の歳月を経て幅員４m、延長１４８０mがこのほど完成したものです。総工費は約２億５千万円。その内85％が国・県の補助によるものです。

当日は、来賓をお迎えし、町長をはじめ事業主体の県及び地元関係者など30人が出席。神事と式典が執り行われ完成を祝いました。

この事業により、困難なすれ違いも容易となり、見通しや排水整備も改善され、生活道としてはもちろん、農林業の振興も期待されます。

▲完成を祝うテープカット

乗って残そうＪＲ・路線バス！

乗車券・定期券などは白川口駅でお買い求めください

白川口駅が無人化されることを防ぐため、町では平成２４年４月にＪＲ東海から委託を受け「乗車券類の販売業務」を行っています。白川口駅における乗車券の販売額の５%、定期券の販売額の 1.８%が手数料としてＪＲ東海から支払われます。手数料は駅員の人件費や駅の維持管理費に充てられており、販売額が多ければ多いほど町の負担は軽減されます。

乗車券や特急券など乗車駅が白川口駅でないもの（例：岐阜駅発白川口駅行）でも白川口駅で購入できます。電車旅行などに出かけられる際には、ぜひ白川口駅で事前にお買い求めください。

また、今年の５月１日から駅舎内に売店が営業を開始し、特産品の白川茶をはじめ各種土産物のほか、菓子類や清涼飲料水も販売。立ち読みコーナーも設置されており、読書しながら電車を待てるようになっています。

少しでも多くの皆さんのご利用をお待ちしています。

町立図書館

おいでよ 楽集館

～新しい本の紹介と催し物のお知らせ～

2階図書館とともに3階のご利用も

当館3階には、郷土の偉人や賢人に関わる「展示室」、明治維新の遺墨・書籍・地図などを展示した「明治維新史料室」、「会議室」などがあります。家庭教育学級、いきいきふれあいサロンやサークルの皆様方にも、ご利用いただいております。各ふれあいセンターに、楽集館紹介パンフレットがあります。個人・団体ともに皆様のご要望に、できる限りお応えします。お気軽にお問い合わせください。

いづみ会（会議室でDVD上映会）

秋の図書館まつり

★図書リサイクル市

楽集館で除籍した本や雑誌、ご家庭からお寄せいただいた本を無料でお譲りいたします。

掘り出し物が見つかるかもしれません。是非お越し下さい！

●期間　10月26日(土)～11月4日(月)

●場所　楽集館玄関

※なお、図書リサイクル市へ提供いただける本がありましたら、楽集館へお持ちください。（百科事典・全集・破損、汚損した図書はお受けできません。）

持ち帰り袋は各自でご用意ください。

★楽集館を探検しよう

楽集館の中を巡って、クイズに答えよう！君は図書館博士になれるかな？

●日時　11月3日(日)
午前9時半～午後4時

※クイズのカードをもらったら、いつでもスタートできるよ。

●対象　小学生以下
（未就学児は保護者同伴）

●参加賞があるよ！

10月の予定

休館日　10月15日(月)

おはなしの時間

●10月5日(土)午後2時～
読み手　楽集館ボランティア

●10月12日(土)午後2時～
読み手　楽集館ボランティア

●10月19日(土)午後2時～
読み手　こんぺいとう

展示

●テーマブック
「歌舞伎」

●ふれあいミニギャラリー
町内中学生の絵画作品展

【日本茶　百味百題】

著者／淵之上弘子　発行／柴田書店

日本人の暮らしには、いつも緑茶がある。ひと仕事終えて一服、これが気分をやわらげ、疲れを癒す。それが生きる上で必要な生活のリズムをつくる。普段何気なく飲んでいるお茶の素朴な疑問に答え、効用を平易に解説する。

【わたしをみつけて】

著者／中脇初枝　発行／ポプラ社

施設で育ち、今は准看護師として働く弥生は、問題がある医師にも異議は唱えない。なぜならやっと得た居場所を失いたくないから…。家族と医療現場の問題に鋭く切り込む長編小説。

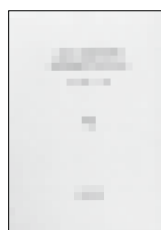
【かあちゃん取扱説明書】

著者／いとうみく　発行／童心社

「かあちゃんは、ほめると機嫌がよくなるんだ。とにかくほめること」と、とうちゃんが言っていた。扱い方さえ間違えなければ、かあちゃんなんてチョチョイのチョイだ！ぼくはかあちゃんの取扱説明書をつくることに…。

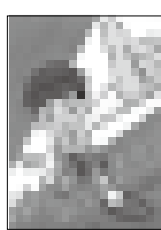
【近世の民俗的世界】

著者／林英一　発行／岩田書院

岐阜県加茂郡白川町黒川に残る江戸時代後期に書かれた史料「自昔代々行伝来ル年中行事」。この史料をそのまま分析することにより、黒川での近世後期という特定の時期の民俗を描く。

【ぼくはねんちょうさん】

著者／サトシン　発行／小学館

園では最年長の「ねんちょうさん」。お絵描き、お弁当の時間、うさぎさんやかめさんの世話…。何でもわかっているつもりの「ねんちょうさん」の男の子の気持ちと園での一日を描く。

美濃白川楽集館　電話 74-1022
E-mail info@gakusyukan.town.shirakawa.gifu.jp
http://gakusyukan.town.shirakawa.gifu.jp/

1歳になったよ！　今月の元気キッズ

8月から10月中に1歳の誕生日を迎えたお子さんの写真を募集します！　自治会、氏名（ふりがな）、生年月日、電話番号、保護者の氏名と簡単なコメントを添えて、10月10日㈭までに郵送またはメールでお申し込みください。
〒509-1192　白川町河岐715　白川町役場　広報担当宛
メールアドレス：keiei@town.shirakawa.lg.jp

小倉

土井　倖之介（こうのすけ）くん

父　辰紀さん
母　望美さん
H24.7.27生

お兄ちゃんに負けずとわんぱくです。
元気にたくましく育ってね!!

神田

佐藤　大吉（だいきち）くん

父　優一さん
母　志保さん
H24.7.19生

元気な子に成長しますように

広報文芸

短歌　安江朋子編

実を付けしふれあいセンターの日除棚一つ所望すパッションフルーツ　今井　明夫

二学期の始まりピッピッと笛鳴らし児童らわたる横断歩道　小井戸かおり

眼帯をはずした時の眩しさよやがて見えくる物の親しき　服部　秀子

初盆に弟の顔目にうかぶ逝きて幾日と一人つぶやく　田口　栄一

草刈りに憩う木陰に涼風が汗ばむ背を吹き抜けてゆく　大井田　徹

夏の日に腹膨れたる客布団取り込む部屋に熱ひろごれり　安江カツル

ひっそりと露草咲けりその青に心平らぐ試歩の野道に　藤井　達栄

一雨に地温下がれば生き返り夏の花々凛と立つ朝　藤井　春美

絶え難き真夏日続くに驟雨来ていつしらに虫すだく夜となる　山下磨智子

夕焼けの見事な景を歌えぬを口惜しみつつ心をさぐる　藤井　道子

はびこるを疎ましく思うドクダミも白き十字の花の愛しき　安江　愛子

里芋の葉先も枯らした暑い夏過ぎれば子芋の太り始める　山口　毎枝

所帯主の横座も失せて何もかも価値なくなりぬ山も田畑も　汲田　義明

猛暑去り三日つづきの涼しさにシュウカイドウの蕾ほころぶ　藤井志げ子

猪の被害にあいて思いたり東北地方の災害のこと　田口喜久江

勘三郎のちょうちん揺れる東座においらん道中の旅芝居見る　小井戸冨貴子

俳句　木の芽会

お白石滴る汗も捧げ置く　今井　益雄

盆の客父似母似とにぎやかに　阿部みさ子

夏野菜片付けてなお山積みに　熊崎　順子

月白や峰の松が枝浮き立てり　今井　光代

月白や徐徐に波穂の光けり　今井　明夫

月白の消え童謡の世界かな　渡邉　佳己

世辞一つ言えぬ男の冷奴　辻　憲一

あきあかね橋の欄干色染める　安江　和子

誘蛾灯在りし処に整地の碑　田口　一行

きのふとは違ふ風音秋立ちぬ　安江　丈二

月代の稜線村を包みおり　安江たづ子

父と子の盛夏の空へボール蹴る　田口　節子

月白し村は早寝の川の音　松浦なつ子

漫俳　漫俳句会互選

兼題「涼」

天　位
一夜明け涼しい顔の当選者　たがゆるめ

地　位
涼しさを腹で感じるかき氷　服部とよか

人　位
馴初めはたしか納涼夏まつり　田口　芳恵

佳　作
「想定外」涼しい顔で言いぬける　鈴村タイ象
チリンチリン南部の鉄にもらう涼　小池　たに
納涼の口開けて見る大花火　今井　昌子
猛暑日で涼しくなった我が財布　今井　明夫
天に花火地に納涼の盆踊り　伊佐治浩雲
生ビールあの一口の清涼感　田口　広雪
涼もとめ木かげの草だけむしる爺　安江　久吉
デパートへ何も買わずに涼むだけ　伊佐治勝広
御仏は炎暑も涼しお顔にて　今井美紗子
涼み台触れたその手が熱くなり　今井二三夫
過去未来語り合いつつ夕涼み　服部　秀子
ストレスを月に洗わせ縁涼み　新田　峡雲

十一月句会　11月9日（土）兼題「恵」　文芸欄への投稿は、はがきに住所と氏名を明記して、短歌と俳句は10月15日（火）、漫俳は月末までに1人2句（首）以内で、俳句は各句会へ短歌及び漫俳は右記へお送りください。　■短歌　安江朋子さん宛（切井414）　■漫俳　中島　巽さん宛　（三川1443）

お知らせ **Information**

「国の教育ローン」のご案内

「国の教育ローン」は、高校、大学などに入学・在学する子どもをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●**融資額**
子ども1人につき300万円以内

●**利　息**
年2・55％（固定金利）
（母子家庭または世帯年収200万円以内の方は年2・15％）
※平成25年7月10日現在

●**返済期間**
15年以内
（交通遺児家庭、母子家庭または世帯年収200万円以内の方は18年以内）

●**返済方法**
毎月元利均等返済
（ボーナス時増額返済も可能）
詳しくは左記のコールセンターまでお問い合わせください。

◎**問い合わせ先**
教育ローンコールセンター
TEL 0570―008656
（ナビダイヤル）または
TEL 03―5321―8656

酒害相談のご案内

県ではアルコール依存に関することで、心配されている本人や家族の方の相談に対応します。

●**場　所**
中濃断酒会
郡上市八幡町（南部コミュニティ消防センター）
郡上市八幡町大正町47
東濃東部断酒会
恵那市（中公民館）
恵那市長島町正家一丁目3番地21

●**日　時**
中濃東部断酒会
10月10日㈭　11月14日㈭
12月12日㈭
東濃東部断酒会
10月9日㈬　12月11日㈬
時間は両会場ともに
午後7時30分～午後9時

●**相談料**　無料

●**事前申し込み**　不要

◎**問い合わせ先**
岐阜県精神保健福祉センター
TEL 058―273―1111
（内線2252）

事業主の皆さんへ

「労働保険」とは、労災保険と雇用保険の総称です。

「労災保険」は、労働者が業務や通勤に起因して、負傷・疾病・死亡した場合に、労働者本人や遺族に必要な給付を行います。

「雇用保険」は、労働者が失業したときや教育訓練を受講したとき、在職中の60歳から65歳未満や育児休業・介護休業中の労働者で一定の賃金低下があった場合に、必要な給付を行います。

また、事業主に対しては、失業の予防、雇用の安定、労働者の福祉の増進を図っていただくための各種助成制度があります。

パートタイム労働者も、一週間の所定労働時間が20時間以上で、かつ雇用見込みが31日以上ある場合は雇用保険に加入しなければなりません。

加入手続きを行っていない事業主の方は、手続きをお願いします。

詳しくは左記までお問い合わせください。

◎**問い合わせ先**
岐阜労働局総務部労働保険徴収室
TEL 058―245―8115

農地パトロールについてお知らせです

農業委員会では、耕作放棄地・違反転用の早期発見などを目的に「農地パトロール」を実施しています。

現在、農業委員が地域を巡回し調査を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

農地は、大切な食糧基盤です。かけがえのない農地を守り、有効に利用しましょう。

◎**問い合わせ先**
役場農林商工課農務グループ
（内線271・272）

役場・町施設等の連絡先

町役場	TEL 72-1311
町民会館	TEL 72-2317
白川北ふれあいセンター	TEL 75-2878
蘇原ふれあいセンター	TEL 73-1001
黒川ふれあいセンター	TEL 77-1001
佐見ふれあいセンター	TEL 76-2001
美濃白川楽集館	TEL 74-1022

中小企業退職金共済制度説明会・個別相談会

しっかりとした退職金制度を持つことは、優秀な人材の確保や従業員の労働意欲を高めるためにも重要であり、事業主と従業員の間の信頼関係の確立にもつながります。

今回は中小企業退職金共済制度のほかに、本部スタッフが個別相談を承ります。加入を検討中の方や、退職金制度の新規導入または見直しを検討中の方は、ぜひこの機会にご利用ください。

※今回の説明会は新規加入を検討されている事業所を対象とした内容になっています。

●日　時　10月18日(金)
　午後2時～午後4時30分

●会　場
ワークプラザ岐阜302大会議室
岐阜市鶴舞町2－6－7

●募集人員　50名
※定員になり次第締め切り

●受講料　無料

◎問い合わせ先
中小企業退職金共済事業本部
℡03－6907－1234（内線3721）

集落再生コーディネーター養成講座受講生募集

地域づくりに興味関心があり、県内地域で実際に活動する意欲がある方を対象に、地域づくりについて学んでいただくための「集落再生コーディネーター養成講座」を開催します。

●講座プログラム
地域の活性化に関する基礎的な知識や実践手法を学びます

●募集対象
18歳以上で講座プログラムの全日程に参加可能な方

●開催日
・岐阜会場
10月26日(土)　11月17日(日)
12月1日(日)　12月8日(日)
・高山会場
10月19日(土)　11月10日(日)
11月24日(日)　12月8日(日)
※12月8日は合同開催

●申込期日　10月14日(月)まで
詳細については、左記までお問い合わせください。

◎問い合わせ先
岐阜県総合企画部市町村課
℡058－272－8105

ワンタッチ式テントを整備しました！

町では宝くじの助成金を受けて、ワンタッチ式テントを整備しました。

自治協議会、自治会のほか地域の各種団体に、イベントや行事などでご活用いただくために購入したものです。サイズは3m×6mと3m×3mの二通りで、設置撤去が簡単にできるテントです。

町民会館と各地区ふれあいセンターに保管してあります。利用の申請は、町民会館内壮健学習グループまたは各地区ふれあいセンターまでお申し込みください。

10月21日から27日は「行政相談週間」です

皆さんは「行政相談」ってご存じですか？

「行政相談」とは、国の行政機関や特殊法人の仕事などについて、皆さんからの苦情や要望を聞き、その解決の促進を図る制度です。

県内には、全市町村に総務大臣から委嘱された行政相談委員が配置され、皆さんからの相談を受け付けています。

白川町の行政相談委員は、渡邉恒雄さん（和泉）「℡72－1088」です。

10月21日から27日は、この行政相談制度を皆さんにもっと知っていただくための「行政相談週間」です。

定例相談は福祉センターで行われていますが、10月21日22日に白川北・黒川・佐見ふれあいセンターで巡回相談も行われますので、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は堅く守られます。

※行政相談の開催時間及び場所など詳細は23ページに掲載されている「10月のカレンダー」をご覧ください。

お知らせ Information

傾聴ボランティアのつどい

内外の施設等で傾聴ボランティア活動をしている方が多くあると思います。平成23～25年度に保健福祉課が開催した傾聴講座修了者の中から、これからも時々集まり、情報交換をしながら傾聴の技術を高めたいという声があがり、左記のように第1回目の集いを開催することになりました。傾聴講座修了者に限らず、既に個人で傾聴ボランティアを実践している方、これからやってみようと関心のある方の参加をお待ちしています。

●**開催日時**　10月27日(日)
午後1時30分～午後3時30分
●**会　場**　町民会館
●**内　容**
気楽におしゃべり座談会
～傾聴も大切・喋る事も楽しい～
●**参加費**　無料
●**世話役**　渡辺康子さん（和泉）
前田久さん（大寺）
参加希望の方は、保健福祉課保健グループまでご連絡ください。
◎**申し込み・問い合わせ先**
町民会館内保健福祉課
保健グループ（内線３６２）

臨時職員募集について

●**採用人員**　臨時職員1名
●**職務内容**　グループ内事務
●**勤務場所**
教育課子育て支援グループ
●**勤務時間**
午前8時30分～午後5時15分
●**採用資格**
パソコン業務可能な方
●**採用期間**
10月15日～平成26年3月31日
●**応募方法**
履歴書を教育課子育て支援グループに提出
●**提出期限**　10月8日(火)
◎**申し込み・問い合わせ先**
町民会館内教育課
子育て支援グループ（内線３３４）

第49回加茂駅伝大会開催のお知らせ

●**日　時**　12月1日(日)
●**参加区分**　中学・高校・一般の部
（男女とも）
●**参加申込**　11月14日(木)まで
◎**申し込み・問い合わせ先**
白川町体育協会事務局
℡０５７４－７２－２３１７

保育園入園受付のお知らせ

平成２６年度中に、保育園に入園を希望する乳幼児の受付を行います

■ **対　象　者**　保護者が勤めや病気、出産、看護などで昼間の保育ができないと認められる町内在住の乳幼児（育児休暇明けなどにより、年度途中から入園を希望される方もご相談ください）
■ **受 付 日 時**　（予備日はありませんのでご注意ください）

園　　名	受　付　日	電 話 番 号	受 付 時 間
白 川 保 育 園（和　泉）	11月7日（木）	72－1156	8：00～16：00
白川北保育園（坂ノ東）		75－2101	
蘇 原 保 育 園（切　井）		73－1266	
黒 川 保 育 園（黒　川）		77－1155	
佐 見 保 育 園（佐　見）		76－2203	
光の子保育園（三　川）		72－2200	

■ **受 付 場 所**　町内各保育園もしくは町民会館内子育て支援グループ
■ **持　ち　物**　印鑑、健康保険証、母子手帳（田･畑･山林のある場合は面積を調べてきてください）
※すべての保育園で、特別保育（一時預かり・延長）を実施しています。また、子育て支援センターを併設しています。
※入園の決定については、後日通知書でお知らせします。
■ **問い合わせ先**　上記期間に都合の悪い場合、その他問い合わせは、各保育園または教育委員会教育課子育て支援グループまでご連絡ください。（℡72-2317　内線333）